

■伊藤薫朔 舞台美術家。近代舞台美術の確立に大きな業績を残すとともに、後進の舞台美術家を育てた。

いとうきさく

Bushidou・1899= 東京神田三崎町で、近代建築の先覚者伊藤為吉の五男に生まれる。母は喜実栄。

弟のがち演出家千田是也になるのをはじめ、七男二女の多くが、芸術家として名をなす家庭環境に育ち、

日露戦争終・1905= 6歳 :

アヲキ創刊・1908= 9歳 :

明治天皇没・1912=13歳 :

ロシア革命・1917=18歳 :

本格政党内閣1918=19歳 : 東京美術学校西洋画科に入学、岡田三郎助に師事する一方、土方与志とともに{模型舞台研究所}を創立して模型舞台展覧会を開き、歌舞伎舞台装置づくりの手伝いも始める。

原敬首相暗殺1921=22歳 :

関東大震災・1923=24歳 : 東京美術学校卒業、

護憲三派圧勝1924=25歳 : この年、小山内薫・土方らが築地小劇場を創立すると、

治安維持法・1925=26歳 : *築地小劇場上演「ジュリヤス・シイザア」の象徴的装置でデビュー。

日本時代始・1926=27歳 : 弟らと近代的な人形劇の先駆となった{人形座}を結成。以後、次々と舞台装置を手掛ける一方、

世界恐慌・1929=30歳 : 築地小劇場が分裂すると、

海軍軍縮条約1930=31歳 : アメリカに兄を訪ねて、舞台美術をサポートしながら研究、その成果を次々発揮して注目され、

満州事変・1931=32歳 :

国際連盟脱退1933=34歳 : {六人会}を主宰し、{春陽会}に舞台美術部を創設、後進の舞台美術家を育てながら舞台美術の発展に努め、

帝人疑獄事件1934=35歳 : *{新協劇団}での「夜明け前」で近代写実装置を確立した。

芥川直木賞始1935=36歳 :

他の諸劇団の舞台も次々と手掛け、

日中戦争始・1937=38歳 :

日米開戦・1941=42歳 : 名著「舞台装置の研究」を刊行。情報局の監督のもとに創立された{日本移動演劇聯盟}の事務局長に就任。

年金+総武装 1944=45歳 :

敗戦・1945=46歳 :

新憲法公布・1946=47歳 : 久保田万太郎「銀座復興、新劇合同「桜の園」などの舞台を手がけ、

新憲法施行・1947=48歳 : 文部大臣賞、

極東裁判決・1948=49歳 : 傑作「火山灰地」を手掛けて、

三大事件・1949=50歳 : 毎日芸術賞・芸術院賞を受賞。「舞台装置の研究」が再版される。

朝鮮戦争始・1950=51歳 : 木下順二「夕鶴」を担当、芸術院賞、毎日演劇賞を受賞し、以後、長期にわたる名舞台となる。

独立回復・1951=52歳 :

TV放送始・1953=54歳 : 映画「雨月物語」の装置で毎日映画コンクール美術賞を受賞。

自衛隊発足・1954=55歳 : *開場した俳優座劇場の社長に就任し、第1回公演「女の平和」を担当。伊藤薫朔舞台美術研究所を主宰し、以後、後進の指導に当る。

55年体制始・1955=56歳 : それまでの活動を総括した著書「舞台装置の30年」を刊行、

インストレーメン・1958=59歳 : 日本舞台美術家協会を設立し、会長。

映画の美術監督としても活躍し、

安保闘争・1960=61歳 :

全国総合計画1962=62歳 : この年の「雨月物語」「檜山節考」などの傑作で、映画界に新風。菊池寛賞。

全国総合計画1962=63歳 :

TV宇宙中継始1963=64歳 : 「舞台美術」を出版。

東京テレビック 1964=65歳 : 芸術院会員となり、

美濃部都知事1967=68歳 : 肺がんのため、自宅で、没した。